


# しょうがいしゃをよりよく サポートするための勉強会



この勉強会は、作業所、施設の職員、ヘルパーや自立生活センター職員など、日常的にしょうがいをもつ人と関わる仕事をしている方々を対象に、日々の業務の中でおこりやすい問題や陥りやすい悪循環などを焦点にあてて行います。

「よりよい支援」を行いたいという情熱をもってこの仕事を始めたものの、業務に追われる日々の中で、たくさん問題にぶつかり、何が問題なのかゆっくりと考えることもできないままに時間が過ぎていく、ということもあるのではないのでしょうか。

この社会でしょうがいをもつ人が置かれている状況、自分が潜在的にしょうがいをもつ人をどのようにおもっているのか等、様々な角度から問題の本質を探ります。自分自身、そして自分としょうがいをもつ人とのよりよい関係について、見つめ直していきましょう。

**日程：6月24日・7月1日・7月8日・7月22日**

**7月29日・8月5日の毎週月曜の全6回**

**時間：13：30～16：30**

**場所：くにたち福祉会館・多摩障害者スポーツセンター**

**参加費：9,000円**

**定員：10名（先着順）**

**リーダー：殿村久子・境屋うらら 他**

**\*申し込み締め切り：6月12日（水）**

～ お申込み・お問い合わせ ～

CIL くにたち援助為センター

\*しょうがいを持たない方を対象にしたプログラムです。

[TEL:042-572-3767](tel:042-572-3767) 担当：殿村・多田

FAX:042-573-5987 Mail: cilkej@hotmail.com



## プログラムの内容

6月24日 会場：くにたち福社会館・小会議室

「今、この社会でしょうがいをもつということ」

- ・しょうがいのあるなしでそれぞれ生まれた時と成長する過程で、周囲がどんな風に対応し、期待するか、2パターンの意見を出し合い、それを元に話を展開します。

7月1日 会場：多摩障害者スポーツセンター・第2集会室

「だれの問題？」

- ・トラブルの具体的な例を挙げて、関連人物の関係を書き出し、人間同士のやりとりを図にし、話を展開します。(プライバシーには充分注意します。)

7月8日 会場：多摩障害者スポーツセンター・第2集会室

「自分を見つめる」

- ・日常的に困っていることなどの具体的な例を挙げて、ピアカンの手法で、時間を分け合って話を聞きあいます。

7月22日 会場：

「支援者の力」

- ・支援によって、結果が変わる — 連想ゲームのようにどんなふうになるかを考えます。

7月29日 会場：くにたち福社会館・講座室

「ロールプレイを使って」

- ・実際に介助中にあったトラブル等を参加者とリーダーでロールプレイを行います。

8月5日 会場：くにたち福社会館・中会議室

「自分をほめる」

- ・自分の良い所、素敵なお所、良くやっているところなどに気付きましょう。

※内容は変更になることもあります。



・参加者の感想・

勉強会は全体的に和やかな雰囲気の中で行われてとても楽しかった。出席するたびに何か気づかせてもらっているの、有るべきいまの自分の仕事ぶりをもう一度考えさせられて、見直させられた。介助は互いの信頼関係を築いた上でうまくいくもの。その信頼関係をどう作っていくのか常に考えなければならない。ストレスを感じたとき、トラブルが発生したとき、長年介助に入ってもいつも初心を忘れずにいることは、案外このような問題を解決してくれるかも。